

山本 かずひと

第3回定例会報告前編



皆様こんにちは。国政では、第3次改造内閣が誕生し、民主党・野田政権にとっては、最後の船出が始まりました。一方、文京区政では、第3回定例会が終盤を迎え、今回は区有施設の使用料・手数料、また保育料の改定など32本の議案が可決致しました。今回の区政リポートは、第3回定例会報告「前編」と致しまして、地域に係る情報をご提供させていただきます。

新たな消火器具の配備

細街路地域に手軽で威力の高い消火器具が登場



スタンドパイプの導入

今回の補正予算で、新たに住宅街や細街路地域に効果が期待される、スタンドパイプが各地域活動センターに配備されることとなりました。使用方法是、消火栓にスタンドパイプを差込みホースを繋げて消火活動を行います。直接、消火栓から水が引けることによって、貯水プールの設置が不要となり、また水量の心配もなくなり、細街路地域の消火エリアが更に拡大し、より迅速な消火活動が可能となります。今後は、町会・自治会等の要望を踏まえて、配備の予算拡大を考えて参りますので、各町会・自治会さんは、是非、区役所防災課に要望を出して頂くようお願い致します。

納骨堂設置基準の条例が改正

今定例会において、納骨堂の設置基準がより強化された条例に改正されることとなりました。これは、本駒込6丁目大和郷会内に納骨堂が建設される問題から端を発し、力強い地域の住民運動によって、これまで区内全域に設置可能だったものが、現に墓地又は納骨堂を設けている宗教法人の境内地及び敷地内であることが、新たな設置基準の条件として条文が改正されたのです。今後は、セレモニーホール等の集会施設の規制をどのように掛けられるかが大きな焦点となりますが、現行法では第1種・2種低層住宅以外の用途地域には、全て集会施設が設置可能となっている為、現行の都市計画法の中では規制を掛けられないのが現状ですが、区長は条例の範囲内で出来る限り規制を掛ける方針を打ち出しました。それは、他区の先進事例を参考にしながら、葬祭場等を新設する事業主に対して、近隣住民等への配慮について何らかの制度を新設すると明言したのです。私も、大和郷地区関係議員として、地域の皆様と連携をしながら、より効果的な規制が掛けられるよう働きかけを行って参りたいと存じます。

白山通りに自転車専用レーンが新設

現在、区では旧白山通りの車道において、自転車専用レーンを設置しているところですが、昨今の自転車を取り巻く交通網が大きく様変わりをし、事故や未遂事故が多発する現況に鑑みて、国レベルで自転車の安全走行には交通安全の最優先の課題として位置付けられて参りました。そこで、国や都では、新たに千石交差点から後樂園にかけて、白山通り全域に自転車専用レーンを新設することが決定されました。来年度から段階的に設置していくこととなりますが、先ずは千石駅前B駐輪場が11月より廃止となり、今の白山通りと旧白山通りの角にある千石駐輪場に集約されることとなります。追って、千石駅前B、千石一丁目、千石明化小前、駕籠町小前も段階的に集約されることとなります。利用者の皆様には、事前に区からお知らせが参りますのでご了承下さい。

富士前公園が新しくなります。

新たに策定された、文京区公園再整備計画の1番手として、来年度に本駒込の富士前公園が改修されることとなりました。この間、3回の住民説明会を開催したところ、一番の懸案となっていたトイレの設置に関しては、合意形成が図られ設置しないことで決定致しました。明るく安全な、そして防災機能を兼ね揃えた新たな公園に生まれ変わりますのでご期待下さい。

8月～9月の主な地域活動



駒込天祖神社平成24年度神幸祭
4年に1度の本社神輿を担ぎました。

秋の全国交通安全運動

富士神社前交差点にて安全誘導を行いました。



手塚よしお総理補佐官街頭活動応援
私の遠縁にあたる、手塚総理補佐官の街頭活動の応援で、チラシ配布のお手伝いを致しました。



富士前公園再整備計画住民説明会
3回開催された説明会に全て出席致しました。

ご意見・ご要望をお聞かせ下さい

＜メールアドレス kazuhito200@nifty.com＞

山本かずひと事務所 TEL5977-3000 FAX5977-3001

プロフィール

- 1965年12月13日文京区本駒込にて出生 ●血液型:AB型 ●星座:射手座 ●大和郷(やまとむら)幼稚園卒
- 文京区立昭和小学校卒 ●文京区立第九中学校 ●玉川学園高等部卒 ●玉川大学文学部英米文学科卒
- 元防衛庁長官(故)衆議院議員中西啓介秘書 ●サラリーマンを経て平成11年の文京区議会議員選挙に初当選。

(当時33歳)

議会では、建設委員会の委員長を務め、文京区のまちづくり全般に関し、議会の責任者として取り組む。

政務では、民主党区市町村議員団の副幹事長として、地方議員団のまとめ役として活動する。